

05.チェコ館



今回見学したチェコ館は、テーマが「人生のための才能と創造性」となっていて建築は現代的な技術、伝統的な技術の融合で作られています。現代的な技術では、CLT(直交集成板)が採用されており、伝統的な技術では、チェコの伝統産業であるボヘミアン・クリスタルが用いられており外観・内観からも美しい回廊状のパビリオンでした。

パビリオン内には、様々な作品が展示されており壁の絵についてはヤクブ・マトゥシカというアーティストが描いた現代アートで、巡っていく人生のあらゆるシーンを再現していて、チェコを代表するミュシャの「三つの時代」を元になっているそうです。

チェコ館を全体通してミュシャの哲学的思考を原点にしており、「岩に座る裸婦」が展示されていました。

その他にも6500年前の古代樹の化石、レネというキャラクターの展示、チェコ発祥のウランガラスでできたオブジェクトなどが展示されていました。

これら展示、技術について実際に見る、感じる事ができチェコについて工法についてなど様々な角度で良い経験になったと感じています。